



史上4頭目の快挙

キタサンブラックが天皇賞・春を連覇

4月30日、京都競馬場で開催された中央競馬G I競走、第155回天皇賞・春で福満のヤナガワ牧場生産馬キタサンブラック号が優勝し、牧場にはたくさんのお客様が訪れて祝福しました。

同競走で史上4頭目となる連覇を達成し、G I競走5勝目、JRA通算10勝目を記録しました。

昨年度は年度代表馬としても選出されたキタサンブラックに、今後更なる活躍が期待されています。



門別町農協特産軟白長ネギ

美味(うま)ネギ君初出荷!

4月10日、門別町農協特産の軟白長ネギ「美味ネギ君」が初出荷され、大勢の生産者や市場関係者に見守られ順調なスタートを切ることができました。

門別町農協特産の軟白長ネギは、白い部分が多く甘みがあり大変美味しいことで知られています。

4月下旬から苫小牧や札幌の他、道外にも出荷されています。



門別競馬場で春のケイバまつり開催 入場人員は過去最多

5月3日、4日、門別競馬場で春のケイバまつりが開催されました。両日ともに天候にも恵まれ、町内外より大勢の方が訪れました。

3日は、ホッカイドウ競馬オフィシャルサポーターの上杉周大さんのアコースティックミニライブが開催され、会場となったポラリススタンドでは上杉さんの熱い歌声と会場を埋め尽くしたファンの歓声も合わさり大盛り上がりでした。

4日には昨秋に続き、町内のダーレー・ジャパン株式会社協賛「ダーレー・ジャパン杯第2回門別ポニーレース」が開催され、競馬場の直線コースを使用した地元のちびっこジョッキーによるポニーレースが開催されました。競走馬よりも体の小さなポニーですが、競走馬にも負けない迫力のあるレースと騎乗したちびっこジョッキーへ会場からは大きな声援と拍手がおくられました。

3日は入場人員が過去最多の3,304人が来場し、2日間では計5,856人が来場されました。

日高町キャッチフレーズ決定！！

公式

～たくさんの応募ありがとうございました～

日高町では、合併10周年を記念して、町のキャッチフレーズを大々的に募集すると同時に、速やかにキャッチフレーズ選考委員会を設置。応募総数は116作品。

キャッチフレーズ選考委員会では、悩みに悩んだ末、次の4作品を選考し、町長に答申。選考結果の答申を受けた町長は、選考委員会の意向を踏まえ決定を決断！

最優秀賞

「^{こう だい} 広^{うみ}大な海 ^{ゆう だい} 雄^{やま}大な山^{なみ}なみ ^{やさ} 優^{あふ}しさ溢^{ひ だか ちょう}れる日高町」

作者 旭岡 朱音 様 (富川高等学校2学年)

このキャッチフレーズには、「海日高と山日高を表現しなかったことと、日高には優しさや思いやりのある人たちが多く」との想いが込められている。



佳作(3点)

「沙流川のせせらぎ繋(つな)ぐ故郷(ふるさと)は 緑豊かな 日高町」

作者 匿名希望 (富川東)

「山の幸、川の幸、海の幸、そして人の幸、広がる日高町」

作者 野澤 みゆき 様 (幾千世)

「沙流川が 海・山・人を むすぶ 町」

作者 今 悦子 様 (宮下町)

最優秀賞、佳作の作者の皆様、おめでとうございます。そして、作品を応募してくれた皆様、ありがとうございました。

紹介した作品は、今後、町のPR活動のために様々な機会で見られます。

選考を終了して・・・

力作揃いで、本当に苦労しました。ギリギリの選考です。全ての作品に何らかの賞をあげたいのは、選考委員会の総意です。しかし、このような募集は、どれかを選考しなければなりませんので、苦渋の選考をしました。

こうした中、富川高校の生徒の応募が多く見られたことは、次代を担う人材が確実に育ってきていると実感でき、苦労が報われた瞬間です。(選考委員長談)